

裏磐梯第8回学生研究発表会

裏磐梯などのフィールドで調査研究をしている学生が、その成果を発表する毎年この時期恒例の「裏磐梯学生研究発表会」が2013年3月10日に裏磐梯ビジターセンターで開催されました。磐梯朝日遷移プロジェクトからは柴崎研、黒沢研、塘研が参加し、3名の学生が研究成果を発表しました。福島大学の学生その他、立正大学(奥羽山脈御霊櫃峠の強風からみた風衝砂礫地の動態)と山形大学(高山帯風衝地における植生ネットを用いた植生の回復)の学生による発表もありました。

研究発表だけでなく、調査道具や機器類、得られたサンプルの紹介などもさせて頂きました。また、裏磐梯を中心に、地元の地域で活動されている方々との意見交換や交流をすることもでき、有意義な発表会となりました。開催と当日の運営にご尽力頂いた裏磐梯ビジターセンターのスタッフの方々に感謝致します。



主催者挨拶をされる裏磐梯ビジターセンターの金野主任自然解説員



「裏磐梯地域の地下水流動解析および将来予測」西牧祐香(柴崎研)



「福島県裏磐梯地域の池沼における底生動物相」増渕翔太(塘研)



「福島県内の山岳域におけるアザミウマ相」志賀澄歌(塘研)



この発表会は毎年3月に開催されており、来年度も開催される予定です。磐梯朝日遷移プロジェクトに参加している一人でも多くの学生がこの発表会で来年も発表し、研究成果を地域に還元できるよう、来年度もそれぞれの研究を推進して頂ければと思います。プロジェクトのメンバー皆さん、来年度も頑張りましょう